

第 32 回基礎及び最新の分析化学講習会と愛知地区講演会 ー遠くても近くても、センシング・ハンドリングー

新型コロナウイルスのパンデミックは、これまでの働き方を大きく変えるきっかけとなりました。この変化は研究・開発においても例外ではありません。従来、分析化学の測定と言えば、研究室や現場に出向き、実験装置や機器を直接操作することが一般的でしたが、ネットワークを介した遠隔測定やデータ解析が広がり始めています。本講習会では、リモートで行える測定法やデータ解析法に関しまして、基礎的な知識から最新の話題を得ることができます。既にリモート測定やデータ処理に携わっている方や、これから必要になる方に有用な内容となっておりますので、奮って御参加ください。また講習会 2 日目の午後には引き続き愛知地区講演会として、最先端の分析化学測定法について、最前線で活躍される先生に御紹介頂きます。こちらにもぜひ御参加ください。

主 催： 日本分析化学会中部支部

共 催： 名古屋工業大学

協 賛： 日本分析化学会高分子分析研究懇談会，日本金属学会東海支部，日本鉄鋼協会東海支部，日本化学会東海支部，化学工学会東海支部，高分子学会東海支部，色材協会中部支部，触媒学会西日本支部，繊維学会東海支部，電気化学会東海支部，日本原子力学会中部支部，日本ゴム協会東海支部，日本接着学会中部支部，日本セラミックス協会東海支部，日本繊維機械学会東海支部，日本農芸化学会中部支部，日本防錆技術協会中部支部，日本薬学会東海支部，日本油化学会東海支部，表面技術協会中部支部，有機合成化学協会東海支部，東海化学工業会，愛知工研協会，東海無機分析化学研究会

期 日： 2022 年 12 月 8 日(木)・9 日(金)

場 所： 名古屋工業大学 4 号館ホール

内 容：

第 32 回基礎及び最新の分析化学講習会 ー遠くても近くても、センシング・ハンドリングー

12 月 8 日

10:00～16:40 講義

1. マイクロ流体電磁泳動システムによるプランクトン計測 飯國 良規 (名工大)
2. イクログントローラを利用した簡易分析装置. モバイル化、自動分析、リモート分析のために. 片野 肇 (福井県立大)
3. 省電力無線伝送デバイスとバイオ電池を組み合わせた自己駆動型バイオセンシングシステムの開発 四反田 功 (東京理科大)
4. 大学等の研究設備を取り巻く現状と名工大の整備 山本 義哉 (名工大)
5. リモート環境における分析業務の効率化 西村 弘臣 (島津製作所)

12 月 9 日

10:00～12:00 見学会

名古屋工業大学 産学官金連携機構設備共用部門

愛知地区講演会 -分析化学 テイクオフ-

12月9日

13:30～16:40

1. 試料前処理剤の設計と流れ分析法への展開 手嶋 紀雄 (愛工大)
2. 液液界面における電荷移動ダイナミクスと界面化学種のキャラクタリゼーション 永谷 広久 (金沢大)
3. イオンモビリティ質量分析法による合成高分子の分析 北川 慎也 (名工大)

参加費 (基礎及び最新の分析化学講習会(愛知地区講演会は無料)):

分析化学会会員・共催 (一般)	6,000 円
協賛学協会会員 (一般)	7,000 円
非会員 (一般)	10,000 円
主催・共催・協賛学協会 (学生)	1,000 円
非会員 (学生)	2,000 円
テキスト (電子版) のみ	5,000 円

参加申込方法: <http://www.jsac.or.jp/~chubu/> から申込書をダウンロードし、必要事項をご記入の上、e-mail にて takada.kazutake@nitech.ac.jp 宛 (e-mail 件名に基礎最新申込とお書きください) に送信ください。参加費は折り返し御連絡致します銀行口座にお振込み下さい。

申込締切 11月20日(月), 申込多数の場合はこれ以前に締切ることがあります。

問合先: 名古屋工業大学大学院物質工学専攻 高田主岳 e-mail: takada.kazutake@nitech.ac.jp, 電話 052-735-5238